

編集後記

『戦史研究年報』第20号をお届けします。

平成28年夏、防衛研究所は目黒から市谷に移転いたしました。

巻頭のグラビアは、新しい史料閲覧室と史料庫を紹介したものです。

「論文」は、戦史研究センター所属研究者による平成27年度調査研究成果から3本を掲載しました。小山論文は、横須賀基地が第7艦隊の主力である空母の母港となる過程を政治的な視点で検証したものです。千々和論文は、基盤的防衛力構想について、公文書、オーラルヒストリー及びインタビューに基づき、部隊編成・装備等の数量算定の過程と実施に与えた影響について検討したものです。平野論文は、日露戦争後の海軍拡張計画に対して、桂内閣が財政的にどのように対応したのかを考察したものです。

「研究会記録」は、ダートマスカレッジ客員准教授ジェニファー・ミラー博士の研究会の記録を掲載しました。警察予備隊発足の背景には、アメリカにおいて軍事力と民主主義についての概念が変容していたことが影響を及ぼしたことを考察したものです。

「活動報告」は、平成28年に戦史研究センターが実施した諸活動、史料閲覧室の閲覧状況などを掲載いたしました。

最後になりましたが、本号発刊のためにご協力いただきました関係各位に厚く御礼を申し上げます。

(飯塚 誠)

年報に示された見解は執筆者個人のものであり、防衛研究所または防衛省の見解を代表するものではありません。なお、論文の一部を引用する場合には、必ず出典を明示して下さい。また、長文にわたる場合には、事前に当研究所に御連絡下さい。

編集委員

庄 司	潤一郎 (委員長)		
石 津	朋 之	相 澤	淳
立 川	京 一	柴 田	武 彦
小 山	高 司	野 村	佳 正

編集担当者

飯 塚 誠

戦史研究年報 第20号

発行日 平成29年3月31日
編 集 防衛省防衛研究所戦史研究センター
発 行 防衛省防衛研究所
〒162-8808 東京都新宿区市谷本村町5番1号
電話 03-3260-3019

ISSN 1345-5117